

ISK経営塾66期 講義キーワード

第6回

2005年7月4日(月)

◆前回講義キーワード

- “聞いたことある”、“知っている”では意味がない。実践して習慣にしてナンボである。
- リーダーに一番重要なのはエネルギー・情熱。エネルギーを出すためにも、健康管理・体を鍛える・言葉を常に前向きにしていく。
- 勝っている人、企業との違いを知る。勝つコツ、レシピをもらってまず真似てみる。
- ビジネスの世界ではカンニングOK。守・破・離をして自分のモノにしていく。
- 判断基準を増やすために、非日常体験を多く積んでいく。自分磨きに時間とお金を惜しんではならない。
- 本当の幸せはあるべき姿・夢の実現である。低次元の目の前にある快樂に流されないように、あるべき姿のイメージを強く、日々コミュニケーションする。

- 決断の先送りが経営では一番ダメ。失敗を恐れずに勇気を持って決断を繰り返す。大きなあるべき姿があれば、失敗は学習となる。
- 目標の大小で努力の量はあまり変わらない。やるなら大きな夢へ向かっての努力をする。
- あるべき姿を想うだけではなく、想いに向かったの具体的な行動を起こす。
- 優位特性は何か決断したことに、意思を入れて行動をし、それを徹していくことで構築される。
- 奇手・妙手はない。行動をして知識を知恵に、技術を技にして価値を創っていく。
- 物事を○か×かではなく、常に3つの視点を思考する。
- 目的・目標・手段は自分のポジションによってローリングしていく。

- 98%リーダー次第。リーダーがエネルギーを出し、変わっていけば組織全体が変わっていく。
- 楽しいあるべき姿があるから耐えられる。耐えるではなく、我慢するではない。
- 行動変化ができないのは、目標が低いから。あるべき姿が高ければ高いほどダイナミックな行動変化を起こすことができる。
- 今いるお客様に満足を与える。それができなければ、次のお客もくることはない。
- 過去と他人は変えられない。変えられるのは今と自分だけ。
- 変わるのは一瞬。勇気を持って腹を決める、決断をして行動を変え、習慣を変えていこう。